



スポットエアコン

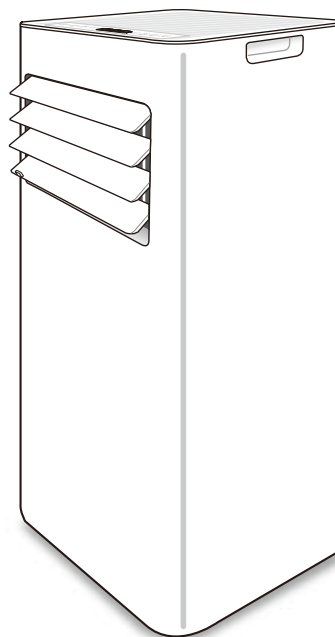
取扱説明書

品番 MSA-236R-W
MSA-236R-M

日本国内専用

家庭用・屋内/準屋内用

もくじ	ページ
安全上のご注意	P1~3
知っておいていただきたいこと	P4~5
コンプレッサの保護機能に関して	P6
各部のなまえ	P7
操作パネルについて(ボタン説明)	P8
リモコンについて	P9
ご使用前に	P10~12
ドレン水を排水する	P13
アース線について	P14
運転をする	P15~17
お手入れのしかた	P18~19
保管のしかた	P19
故障かな?と思ったら	P20
エラー表記について	P21
製品仕様 / 別売品	P22
長期使用製品安全表示制度 に基づく本体表示について	P23





この製品は人用のスポットエアコン（簡易冷房）です。それ以外の目的・用途には使用しないでください。この製品は屋外では使用できません。屋内または準屋内（屋根があり、直射日光や雨が当たらない場所）でのみ使用してください。製品の故障や変形、変色の原因になります。

このたびは「スポットエアコン」をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解されたうえで事故が起これぬように記載内容に従って正しくご使用ください。本製品は一般家庭用に開発された製品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。また、一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

-  **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
-  **注意** 人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。






絵表示の例

-  記号は、「禁止」(しないでください)を示します。
-  記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。



安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告

 分解禁止	<p>絶対に改造、分解、修理をおこなわない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災や感電、けがの原因になります。 ※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。 	 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・けがのおそれがあります。
 禁止	<p>日本国内専用</p> <p>家庭用・屋内 / 準屋内用</p> <p>業務用や使用目的以外に使用しない 室内のみで使用し、屋外では使用しない</p>	 水ぬれ禁止	<p>浴室、温室などの高温多湿の場所や、水のかかる所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●絶縁部が劣化し、火災・感電の原因になります。
	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使用かた(エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線)や交流100V以外では使わない 延長コードは使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器が損傷するおそれがあります。 	 禁止	<p>本体に水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いしたり、水の入った花瓶などをのせたりは絶対にしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部に浸水して火災・感電・漏電の原因になります。
	<p>電源コードを束ねたまま使用したり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、傷付けたり、高温部に近づけたり加工したり、はさみ込んだり、ステーブルなどで固定しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・故障・発熱・発火で火災の原因になります。必ず伸ばした状態で使用してください。 	<p>発電機やポータブルバッテリーなどの電源は使用しない※必ず商用電源を使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商用電源に対応しているため故障の原因になります。 	
	<p>本製品の電源プラグが傷んだ場合や、ゆるんだコンセントは使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・発熱・発火のおそれがあります。 	<p>からだの不自由な方やお子様だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用や設置・保管したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電・けがの原因になります。 	
	<p>運転中に、電源プラグを抜かない 電源コードを抜いて停止しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障の原因になります。必ず電源を切りファンが停止してから電源プラグを抜いてください。 	<p>吹出口や吸気口・給気口・排気口に、ピンや針金などの金属製の異物や指などを入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部でファンが高速回転しているため、けがのおそれがあります。 	
	<p>本体を横倒しにして設置や移動・保管をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●けがや事故のおそれ、コンプレッサーなどの内部不具合の原因になります。 		

 **警告**

 <p>禁止</p>	<p>次の場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる所 ・雨や水しぶきのかかる所 ・油・ホコリ・金属粉の多い所 ・粉塵が浮遊する所 <p>● 燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>床にワックスをするときは使用しない</p> <p>● 本体内部にワックス成分が付着し、水漏れの原因になります。</p>
	<p>直射日光の当たる場所や、高温になる場所に放置しない</p> <p>● 故障や色あせ、熱による変形の原因になります。</p>		<p>ダクトパネルを取り付ける場合は、必ず付属の部品を使い、重量に耐える場所に正しく取り付ける</p> <p>● 不完全な場合、ダクトパネルの落下によるけがの原因になります。</p>
	<p>風をストーブなどの燃焼器具に向けない</p> <p>● 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。</p>		<p>ダクトパネルの移動や再設置をする場合は、確実に正しく取り付ける</p> <p>● 不完全な場合、ダクトパネルの落下によるけがの原因になります。</p>
	<p>燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない</p> <p>● 故障や変形のおそれがあります。また、冷風運転が正常に作動しない場合があります。</p>		<p>可燃性ガスが発生する場所や、たまる場所では使用しない</p> <p>● 火災や故障の原因になります。</p>
	<p>本製品の上に乗ったり、物をのせたりしない</p> <p>● 破損したり、転倒・落下によるけがの原因になります。</p>		<p>AC100V 15A以上のコンセントを単独で使用する 【コンセントの差込口が2口以上になっていても単独で使用する】</p> <p>● 過熱による発火や火災、感電の原因になります。</p>
	<p>本体にタオルや衣類・洗濯物などを掛けて乾燥用に使用したり、近くに置かない</p> <p>● 可動部に絡まるなど、故障の原因になります。</p>		<p>異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>● 発煙・発火・火災・感電のおそれがあります。</p> <p>[異常例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常な音やにおいがする ・電源プラグやアース線・電源コードが異常に熱くなる ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中時々電源が切れる ・触れるとビリビリと電気を感じる <p>※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。</p>
	<p>本製品によりかかったり、倒したり、ぶつけたりして強い衝撃を与えない</p> <p>● 故障や破損の原因になります。</p>		<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> <p>● 感電や発熱・発火による火災の原因になります。</p>
	<p>障害物(カーテンなど)の周囲や不安定な場所で使用しない</p> <p>● 事故や転倒、故障や水漏れの原因になります。</p>		<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く</p> <p>● コードが破損して感電や発熱・発火による火災の原因になります。</p>
	<p>長時間、風を直接からだに当てたり、冷やしすぎたりしない</p> <p>● 体調悪化や健康障害の原因になります。とくに乳幼児やお年寄り、からだの不自由な方にはご注意ください。</p>		<p>使用後・使用時以外は、コンセントから電源プラグを抜く</p> <p>● 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>
	<p>可燃性ガス(掃除用・殺虫用・整髪用など)や市販のエアコン洗浄スプレーを本体に吹きつけない</p> <p>● 故障や変色、製品内部の破損、排水経路の詰まりによる水漏れの原因になります。</p>		<p>電源プラグのゴミやホコリは定期的に乾いた布で取り除く</p> <p>● 湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>
<p>煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転をしない</p> <p>● 本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて健康を害するおそれがあります。</p>			



必ず守る

⚠ 警告



アース線接続

アース線を接続する

- 接続しない場合や不完全な場合は、故障・漏電時に感電の原因になります。

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しない
詳細は 14 ページを参照

⚠ 注意



禁止

過熱を防ぐため本体を覆わない
本体にタオルや衣類などを掛けて使用したり、乾燥用に使用したりしない

- 火災の原因になります。

吹出口や排気口の風をさえぎったり、吸気口や給気口を塞いだりしない

- 発熱・発火・故障の原因になります。

ドレンホース差込口カバーおよび排水ドレン栓は、冷風運転・ドライ運転の連続排水時以外は取り外さない

- 水漏れの原因になります。



禁止

特殊用途で使用しない

食品の保存や動物飼育室・温室・精密機器・コンピュータールーム・医療品などの維持・管理・保存など

- 品質低下・劣化・故障の原因になります。

付属の排気ダクト以外を使って排気ダクトを延長しない

- 能力低下や、安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。

押し入れや家具のすき間など、狭い場所で使用しない

- 発熱・発火・故障の原因になります。

犬や猫などのペット用空調機器として使用しない

- ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因になります。
- 予期せぬ問題が発生し、ペットに害をおよぼす場合があります。



禁止

本体内部の熱交換器に手を触れない

- けがの原因になります。

ルーバーを無理やり動かしたり、無理な力を加えない

- 破損の原因になります。

⚠ 動かなくなったときは、それ以上動かさないでください。

燃えやすい物の近くで使わない

- カーテンや壁・家具の近く、熱に弱い敷物（ビニルクロスなど）の上で使用しないでください。



必ず守る

部屋を閉め切ったり、ダクトを取り付けて使用する場合は、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気をする

- 換気が不十分な場合、酸素不足の原因になることがあります。

異常な振動や異音が出た場合は、使用を中止する

- 部品の落下などによるけがの原因になります。

本体を移動するときは、運転を停止し、必ずコンセントから電源プラグを抜いて内部の水を捨ててからおこなう

- 床を汚す原因になります。
また、ドレンタンクの中の水が本体内部に浸入し、感電の原因になります。

お手入れや点検の際は、必ずコンセントから電源プラグを抜く

- 感電・けがの原因になります。



包装用ポリ袋は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
誤って顔にかぶさったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。

知っておいていただきたいこと

- 本製品は冷房機（セパレートエアコン）ではありません。簡易的な冷房としてご使用ください。スポット冷房機のため、部屋全体を冷やすことはできません。
- 室温が約 16℃～38℃の範囲の環境でご使用ください。（6 ページ参照）
- 表示温度について
 - ・ディスプレイ表示される温度は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周辺温度になります。
 - ・設置場所によっては、温度が正確に表示されない場合があります。
- 冷風運転時の設定温度について
 - 周辺温度より低い温度に設定してください。高い温度に設定した場合は、冷風運転をしません。
 - ただし、ファンは連続運転し、送風運転を続けます。
 - （ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります）
- 付属のダクトパネル・排気ダクトを使用せずに閉め切った部屋で運転しますと、室温が上がります。コンプレッサーの保護機能が働き、冷風・ドライ運転ができないことがあります。
- 付属のダクトパネル・排気ダクトを使用して、排気の処理を適正におこないますと、経済的・効果的にご使用いただけます。
- 夏場は、ドレン水が溜まりやすいため、冷風・ドライ運転時は付属のドレンホースをドレンホース差込口に差して使用することをおすすめします。
- 落雷などで停電した場合は、一旦運転を停止してコンセントから電源プラグを抜いてください。再度使用するときは、5分以上時間をおいてから使用してください。

次のような使用は避けてください。

- ・部屋の湿度が 80%を超えた状態が続く場所
- ・ダクトパネルを使用している状態で、風雨の強いとき
- ・加工油や防錆油や有機溶剤を使用している場所
- ・火花が飛び散るような場所
- ・むやみにボタン操作を繰り返す行為 → 故障の原因になります。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません

- 音がする（「シャンシャン」など）
 - 運転開始直後や停止直後に、ユニットの中を冷媒液が流れる音がすることがあります。
 - 運転開始時・停止時に、本体の熱膨張や熱収縮による音がすることがあります。
 - 運転中に、本体内部でドレン水を蒸発処理している音がすることがあります。
 - 本製品は、コンプレッサーが稼働すると、大きな音が鳴りますが故障ではありません。
- ニオイがする
 - 購入後しばらくは、ニオイがすることがありますが、使用を続けることで少なくなります。
 - また、ユニットに付いた部屋の芳香剤や化粧品、汗などのニオイがする場合もあります。
- 霧について
 - 冷風運転中にドレンホース付近から、霧(煙)のようなものが見えることがあります。
 - これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。
- 結露について
 - 部屋の湿度が80%以上あるときに、長時間にわたって冷風運転を続けると、ドレンホースの付近に結露が付き、落ちることがあります。
- アルミフィンについて
 - 熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の溶接の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

知っておいていただきたいこと

設置について

- 本製品の本体重量は約20kgです。平らで安定した、重量に十分耐える場所に設置する
また、2人以上で設置・移動をおこなう

※畳の上や、やわらかいフローリングの上など傷がついたり、設置跡が残る可能性のある場所には設置しないでください。

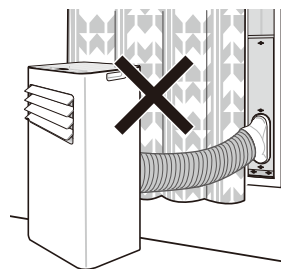
※設置場所には十分注意してください。設置跡に関しては弊社では責任は負いかねます。

- 製品到着後はすぐに電源を入れず、必ず半日から1日以上置いてから使用する

→コンプレッサー故障の原因になります。

- 使用の際は、吹出口・吸気口・給気口・排気口をふさがないように、壁面から60cm以上離し、周囲に障害物がないようにして設置する

→カーテンなどが吸気口に吸い付き、故障の原因になります。



- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離す

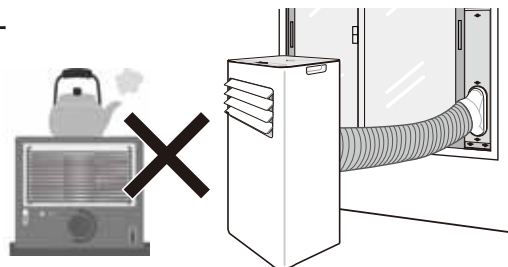
→電波障害の原因になります。

- 燃焼・発熱器具の周辺など熱気が当たる場所には設置しない

→燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災や感電の原因になります。

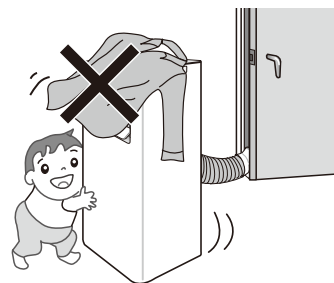
→故障や変形のおそれがあります。

→冷風運転が正常に作動しない場合があります。



- 本体の上に物を置いたり、洗濯物を掛けたり、乗ったり、寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えない

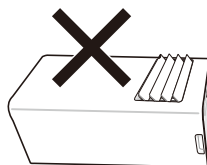
→けがや事故・破損・故障の原因になります。



- 本体を横倒しにしたり、横倒しにして設置や移動・保管したりしない

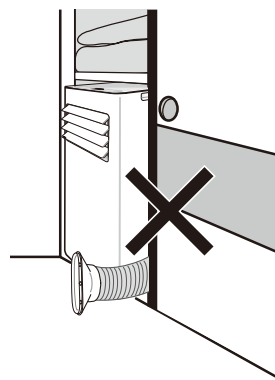
→けがや事故・故障の原因になります。

→コンプレッサーなどの内部不具合の原因になります。



- 押し入れや家具のすき間など、狭い場所に設置して使用しない

→発熱や発火・故障の原因になります。



- 直射日光が当たる場所に設置しない

→故障や色あせ、熱による変形の原因になります。

- 冷風・ドライ使用時、及び使用後に本体を移動させない

→移動させることで本体内部の水受け皿に溜まっている水が溢れ、時間差で外部に漏れ出ることがあります。

コンプレッサーの保護機能に関して

■室温が約 16℃～ 38℃の範囲の環境でご使用ください。

⇒ 以下の環境になると、保護機能が働き、「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に運転が自動で切り替わります。

● 本体周辺の温度が 39℃以上、15℃以下のとき

● 冷却ユニットに霜が付いた場合

※ 本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。

※ 使用温度範囲は、湿度によっても変わります。目安としてください。

※ ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります。

冷風運転	15℃以下	16℃ ～ 38℃	39℃以上
ドライ運転	送風	冷風	送風

※ 冷風運転・ドライ運転中に本体の周辺温度が 39℃以上 15℃以下になり「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に切り替わった場合、製品の温度センサーが「16℃～38℃」感知後、自動で冷風運転またはドライ運転に切り替わります。

※ 周辺温度が 35℃以上の場合、周辺温度が 38℃以下でも、本体内部の温度センサーが 39℃以上と感知してコンプレッサーの入切を繰り返す場合があります。(周辺温度と本体内部の温度には差があります)

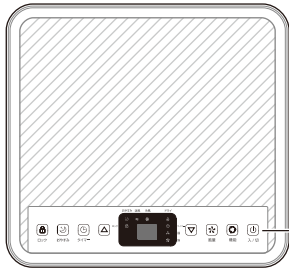
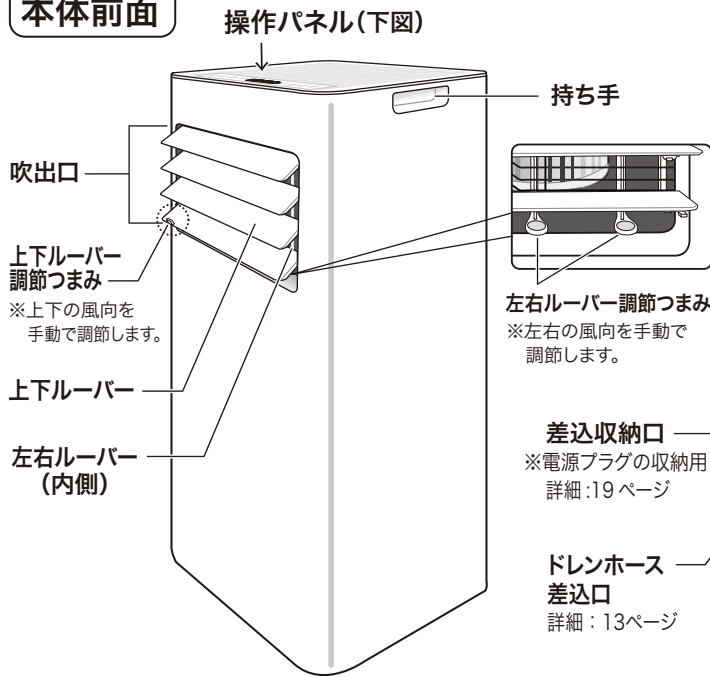
密閉空間では、コンプレッサーの入切を繰り返すことで次第に室温が下がり、連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

※ 冷風運転・ドライ運転中に冷却ユニットに霜が発生した場合、「冷風 / ドライ ⇒ 送風」に自動で切り替わり、霜が溶けたあと、自動で冷風運転またはドライ運転に切り替わります。

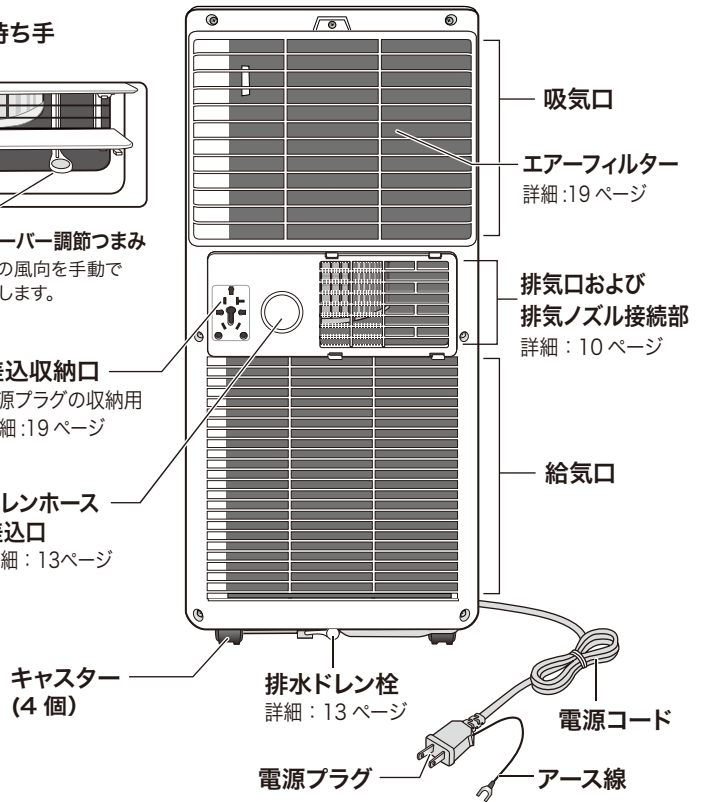
- 機能を切り替えた際、最長 5～10 分間コンプレッサーの起動に時間がかかります。
- 電源を切った後すぐに再度電源を入れた場合でも、コンプレッサーの起動に時間がかかります。

各部のなまえ

本体前面



本体背面



必ず正しくアース接続をおこなう
 ●接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。 詳細:14ページ
電源コードは束ねたまま使用しない
 ●コードが熱くなり、故障の原因になります。

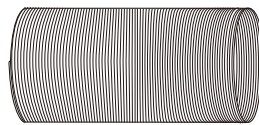
付属品

■リモコン 詳細:9ページ

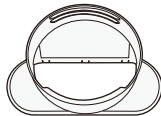


単4形アルカリ乾電池
2本使用
※電池は付属していません。

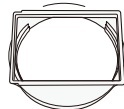
■排気ダクト 詳細:10ページ サイズ:約(直径)15×(長さ)147cm



■ダクトエンド(ダクトパネル側)



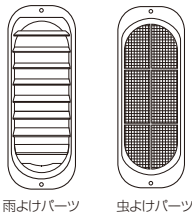
■排気ノズル(本体側)



■ダクトパネル 詳細:11.12ページ

- A 約(幅)11×(長さ)65cm
- B 約(幅)10.5×(長さ)65cm
- C 約(幅)11×(長さ)55cm
- D 約(幅)10.5×(長さ)55cm

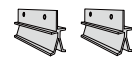
■雨・虫よけパーツ 詳細:11ページ



■ダクトパネル固定用ネジセット x9



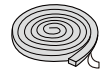
■レール固定用アタッチメント x2



■ドレンホース 詳細:13ページ



■すき間スポンジシール 約130cm×4



操作パネルについて (ボタン説明)

本体パネル

詳細 : 15.16.17 ページ

●各動作状態のランプが点灯します。

※送風・ドライ運転時は周辺温度、
冷風運転時は設定温度が表示
されます。(周辺温度は目安です)

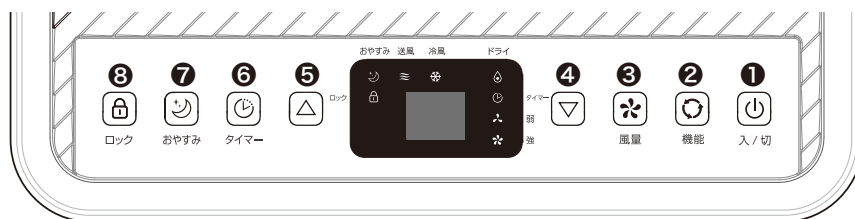


●操作ボタンは静電式タッチボタンです。
操作ボタンをタッチするとランプが
点灯します。

操作部

詳細 : 15・16・17ページ

[温度/時間表示画面]



静電式タッチボタンについて

ボタンの中央を軽くタッチすると操作できます。
次の場合はボタンが反応しないことがあります。

- 早くタッチしたとき
- 同時に2つ以上のボタンをタッチしたとき
- 指やボタンがぬれたり汚れたりしているとき
- 指以外の物でタッチしたとき
- 操作部やその周辺に手や物を置いているとき
- 指サックや傷テープなどをしているとき

周囲の温度や湿度、近くの電気製品の動作状況によっても影響を受けることがあります。

① 電源 入/切

●電源切時はメモリー機能が働きます。
再度電源を入れると、電源切前の状態で
運転を始めます。

※コンセントから電源プラグを抜き、しばらく
放置するとメモリー機能は解除されます。

② 機能設定

※長押しすると内部クリーンモードとなり、
送風(風量強)で30分運転後に電源が切れます。
(詳細 : 16ページ参照)

[冷風]

●設定温度に応じて冷風運転と送風運転を
自動で切り替えて運転をします。

※設定温度を16~32°Cで設定できます。

※強・弱の風量設定が可能です。

※設定温度と周辺温度が同じになると、送風に
切り替わります。
周辺温度が設定温度より高くなると冷風に
切り替わります。

[ドライ]

●環境温度に応じてコンプレッサーの入/切
を繰り返して乾燥した風を送り出し、湿度を
下げます。

※風量弱のみで運転をします。

※温度設定はできません。

[送風]

●設定した風量を2段階(強/弱)で送風運転をします。

※温度設定はできません。

③ 風量設定

●使用環境やお好みに合わせて風量を
2段階(強/弱)で調節可能です。

※冷風・送風運転時のみ設定可能です。

④⑤ 温度/タイマー時間設定

温度を上げる・タイマー時間を進める

温度を下げる・タイマー時間を戻す

⑥ タイマー設定 入/切

●1~24時間単位で入/切タイマーの
設定ができます。(1時間単位)

⑦ おやすみ設定

●表示部のLEDが暗くなり、機能切り替え
以外の操作音が鳴らなくなります。

※冷風運転のみ使用可能です。

※風量弱で運転します。

※12時間後自動で運転を停止します。

⑧ ロック設定

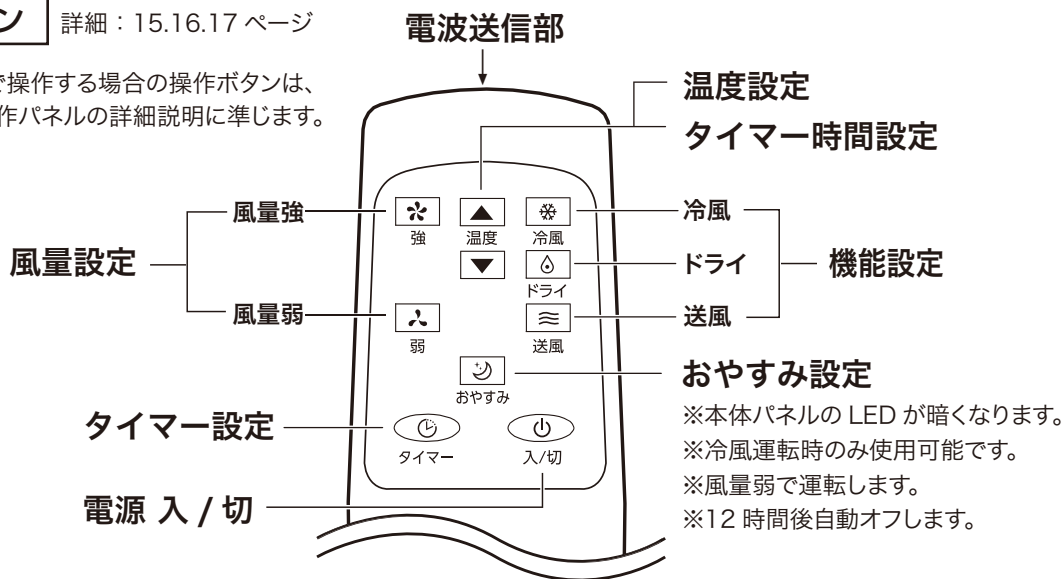
●ロックボタンを長押し(約3秒)すると
ボタン操作をロックします。
再度長押し(約3秒)でロックを解除します。

※ロック中は本体パネル・リモコン操作ができません。

リモコンについて

リモコン 詳細：15.16.17 ページ

●リモコンで操作する場合の操作ボタンは、本体の操作パネルの詳細説明に準じます。



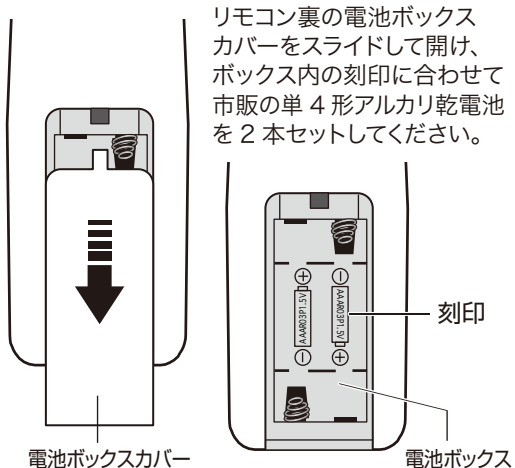
※リモコンを使って本体を操作するときは、吹出口の上下ルーバーを開けてから吹出口内部のリモコン電波受信部に向けて、操作ボタンを押してください。

リモコン電波受信部



■リモコン用電池のセット

単4形アルカリ乾電池2本使用
 ※電池は付属していません。



- ・電池の⊕⊖を正しくセットしてください。
- ・古い電池と新しい電池や種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ・電池は、必ず2本一緒に交換してください。

長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出しておいてください。→電池が液漏れして故障の原因になります。

【リモコン操作上のご注意】

■本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

1. 他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。
2. 本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

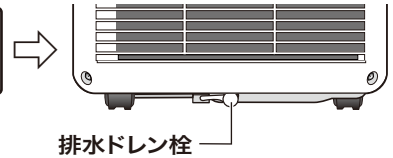
これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と重なってしまうことで発生する現象で、製品機能上は問題はありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

ご使用前に

お願い 製品到着後はすぐに電源を入れず、必ず半日から1日以上置いてから使用してください。

→ 運送中にコンプレッサー内の冷媒オイルが別の場所に流れ込み、
コンプレッサー内の冷媒オイルが不足して正常に動作しないことがあります。

本体背面の排水ドレン栓が確実に差し込まれていることを確認してください。→ 確実に差し込まれていないと、水漏れの原因になります。



排気ダクトを取り付ける

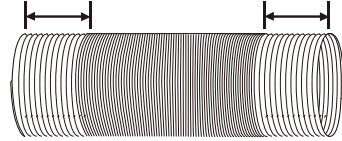


必ず守る

排気ダクトは、本体の排気口に取り付けて使用します。取り付けずに使用すると排気の一部が給気に戻り、能力が低下する（室温が上昇する）ことがあります。室温の上昇を抑え、効果的に使用するため、冷風モード・ドライモードを使用する際は必ず排熱処理をしてください。付属の排気ダクト以外を使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長しないでください。

① 排気ダクトの両端を約10cm程度伸ばします。

両端を約10cm程度伸ばす



② 排気ノズルとダクトエンドを、排気ダクトの伸ばした両端にセットし、両方がある程度固定されるまで右回りに回してセットします。

右回りに回す

右回りに回す



排気ノズル・ダクトエンドを左回りに回すと、排気ダクトから外すことができます。

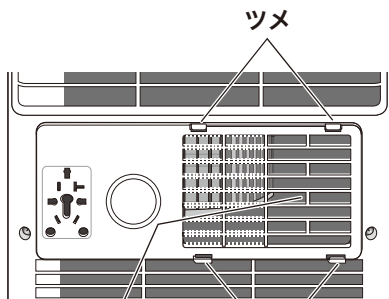
③ 本体の排気口の上下のツメに排気ノズルの切り欠き部を差し込み、止まるところまで左にスライドします。

※カチッと音がするまで確実にセットします。

切り欠き部

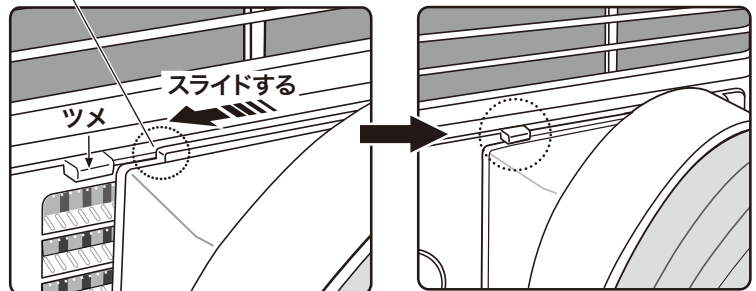
スライド方向

切り欠き部



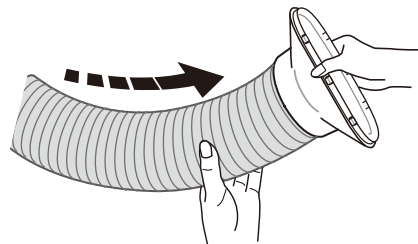
排気口

ツメ



④ 排気ダクトを適当な長さに伸ばします。

【注】 排気ダクトを伸ばすときは、取り付けたダクトエンドや排気ノズルが排気ダクトから外れないように、注意しながらおこなってください。



ダクトパネルの設置



- ダクトパネルの重量に耐える場所に設置してください。
- ダクトパネル設置にあたり、雨よけパーツをご使用になれない環境の場合は、雨どいの真下は避け、吹き下ろしなどで雨水が浸入しない場所を選んでください。
- 台風など雨や風が強いときは、使用を中止してダクトパネルを取り外してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。運転時の振動による騒音が発生し、近隣に迷惑になるおそれがあります。

■設置可能な窓枠高さについて

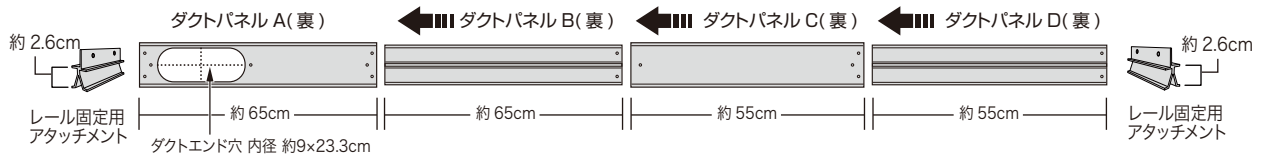
約70.2cm (ダクトパネル1枚のみ)、約91.2~231.2cm (ダクトパネル2枚以上組み合わせた場合)

(長さ) A 約65cm / B 約65cm / C 約55cm / D 約55cm

■A+ アタッチメント：約70.2cm ■A+D+ アタッチメント：約91.2~120.2cm

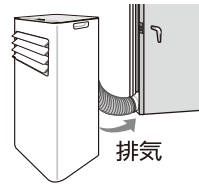
■A+B+ アタッチメント：約101.2~130.2cm ■A+D+C+ アタッチメント：約125.2~170.2cm

■A+B+C+ アタッチメント：約125.2~180.2cm ■A+B+C+D+ アタッチメント：約156.2~231.2cm



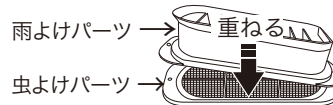
注意 ダクトパネルが設置できない場合

- ダクトパネルの設置が難しいドアや窓の場合は、以下の方法をおこなってください。
 - 排気ダクトの先端部の「ダクトエンド」をドアを開けた所に挟み排気を外部に出します。
- 【注】 付属の排気ダクトを使用せずに閉め切った部屋で運転しますと、能力が低下します。

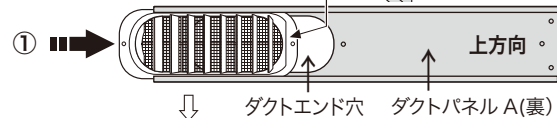


1.ダクトパネルAに雨よけパーツ・虫よけパーツを取り付ける

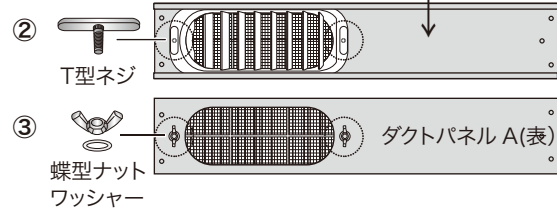
- ①虫よけパーツの上に雨よけパーツを重ねた状態でダクトパネルAの裏側の溝に差し込み、ダクトエンド穴までスライドし合わせます。
※雨よけパーツ・虫よけパーツはそれぞれ単体でも使用可能です。



- ②雨よけパーツ・虫よけパーツのネジ穴とダクトパネルAのネジ穴を一致させ、T型ネジを上下に差し込みます。



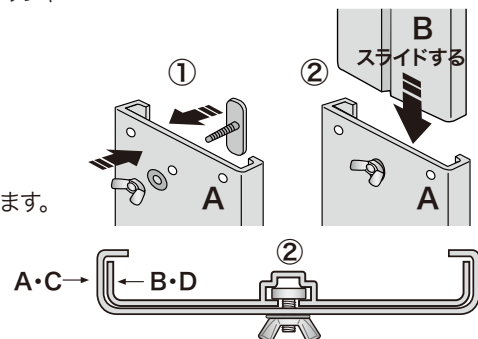
- ③ダクトパネルAの表側からT型ネジの先にワッシャーと蝶型ナットをセットして回し、ダクトパネルAに雨よけパーツ・虫よけパーツを確実に固定します。



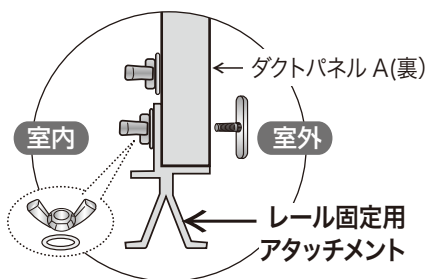
2.ダクトパネルを組み立てる

- ①ダクトパネルAのネジ穴の裏側からT型ネジを差し込み、ワッシャーと蝶型ナットをセットしたら蝶型ナットを2周ほど回して軽く止めておきます。
- ②ダクトパネルBの中央の凸溝にT型ネジを縦にして差し込み、ダクトパネルAにスライドして重ね、蝶型ナットで仮おさえておきます。

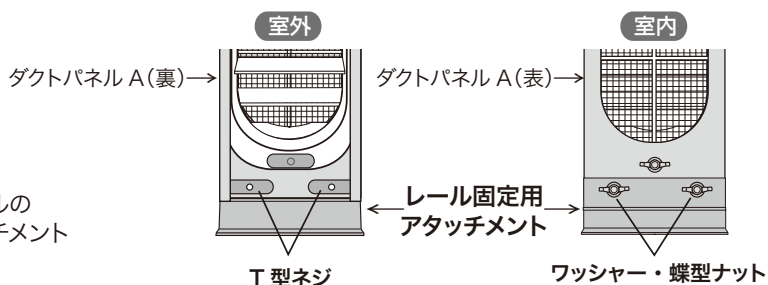
※設置する窓の高さに合わせてダクトパネルC・Dを追加します。
※必ず各パネルが5cm以上重なるようにしてください。



3.ダクトパネルにレール固定用アタッチメントを取り付ける



- ①レール固定用アタッチメントとダクトパネル A の 2 か所のネジ穴を合わせ、ダクトパネル A の裏側から T 型ネジを差し込み、ワッシャーと蝶型ナットで固定します。
 - ②ダクトパネル A に接続したダクトパネルの先端に、レール固定用アタッチメントをセットし、T 型ネジ・ワッシャー・蝶型ナットでしっかり固定します。
- ※レール固定用アタッチメントの取り付け位置・取り付け方に注意してください。



4.ダクトパネルを設置する

- ①接続部の蝶型ナットを緩め、ダクトパネルの表側を室内側にしてレール固定用アタッチメントを窓のレールにはまるように置きます。
- ②接続したダクトパネルを窓の高さまでスライドして、先端のレール固定用アタッチメントが窓の上部レールにはまるように、ダクトパネルの長さを伸縮調整し、蝶型ナットをしっかりと締めて固定します。
※必ず上下同じレールに取り付けてください。



注意 アタッチメントがしっかりとレールにはまっていることを確認してください。取付が不十分な場合は、窓枠から脱落し、けがをするおそれがあります。

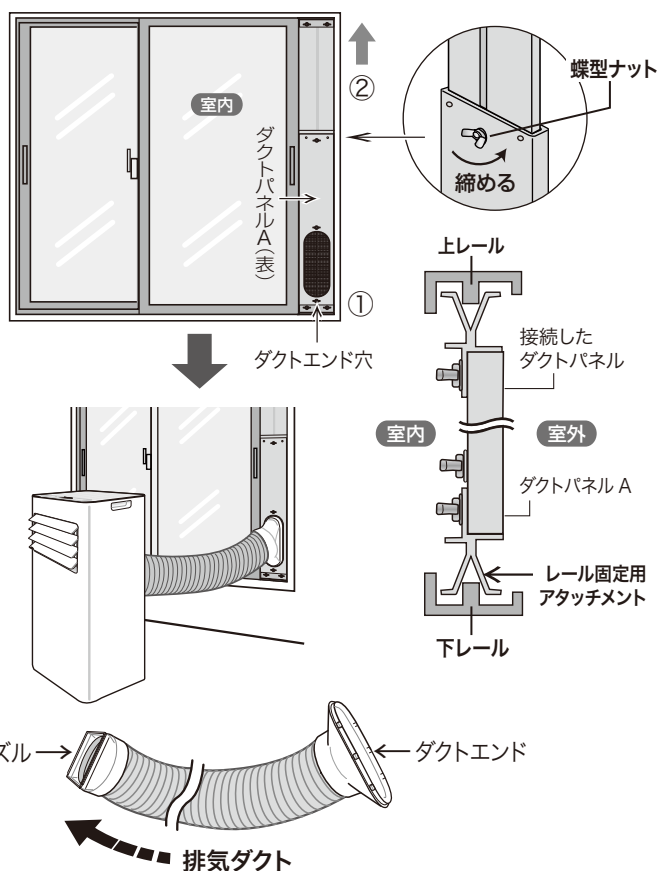
- 窓サッシとダクトパネルの側面のすき間が気になる際は、すき間スポンジシールを貼って調整してください。
- ダクトパネルを設置した際は、必ず市販の窓サッシ固定用の鍵で窓を施錠してください。
※窓サッシ固定用の鍵は付属していません。必ず別途市販のものをご用意ください。

- ④ダクトパネル A のダクトエンド穴に、排気ダクトのダクトエンドをはめ込みます。
※ダクトエンドを穴に合わせ、上から軽く押すとカチッとハマります。
- ⑤本体を近くに設置し、排気ダクトの長さを調整したら、排気ノズルを本体背面にスライドしてはめ込みます。
(10 ページ参照)

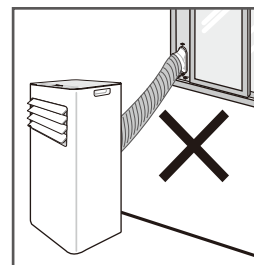


注意 排気ダクトを伸ばすときは、取り付けたダクトエンドや排気ノズルが排気ダクトから外れないように、注意しながらおこなってください。

- ダクトパネルからダクトエンドを取り外すときは「お手入れのしかた」(18ページ)を参照してください。



- 排気ダクトを設置する際に角度をつけすぎないでください。
※排気ダクトの角度が急な場合は排気が逆流し、能力が著しく低下、または冷風が出なくなるおそれがあります。



ドレン水を排水する

この製品はノンドレン構造ですが、湿度の高い場所で使用するとドレン水がたまり、満水のエラー表示がでます。その際は、下記の方法でドレン水の排水をしてください。
※ノンドレン構造とは、運転時に発生したドレン水を蒸発させて、排気と一緒に排出するものです。

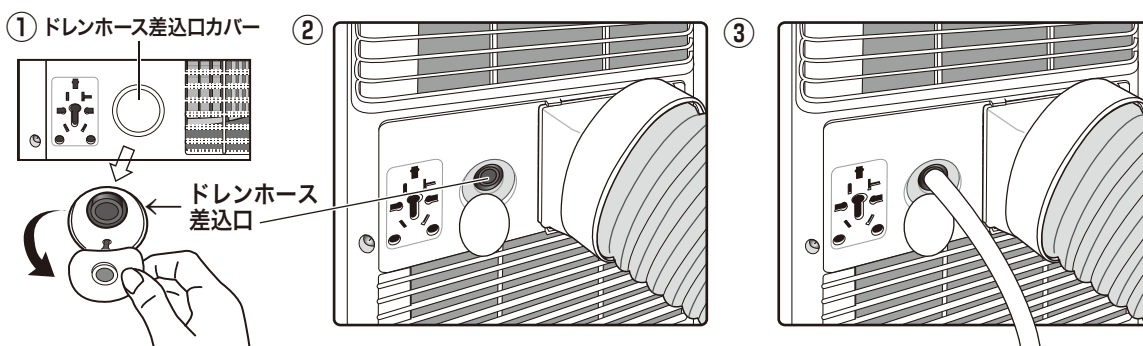
ドレンホースを取り付けて排水する ※ドレン水をためる容器をご用意ください。

●冷風・ドライ運転時に連続排水するときにドレンホース差込口に差し込んで使用します。

- ①本体背面のドレンホース差込口カバーを下方に引いて開け、半回転して表側を出し、ドレンホース差込口カバーを②図の状態にします。

【注】ドレンホース差込口カバーは、冷風・ドライ運転時の連続排水時以外は外さない →水漏れの原因になります。

- ②ドレンホース差込口に付属のドレンホースをしっかりと差し込み、
③ドレンホースの先をドレン水をためる容器に差し込みます。



ドレン水をためる容器の水量をこまめに確認する
→容器からあふれて床を濡らす原因になります。

ドレンホースは必ずドレンホース差込口より低い位置に向けて排水してください。→排水できずに水漏れの原因になります。

ドレンホースの折れ曲がりや落差に注意し、ドレンホースの先がドレン水を受けている容器に浸からないようにする

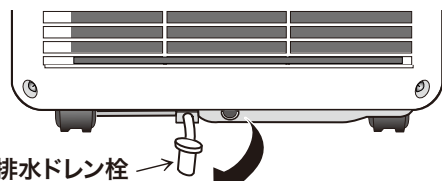


本体下部排水口から排水する

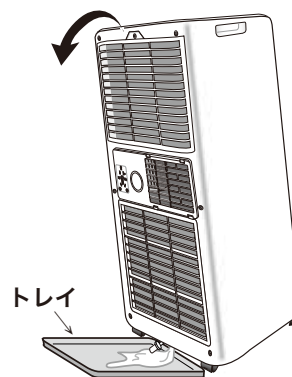
- ドレンホースを取り付けずに運転し、ドレン水満水のお知らせがあったときにおこないます。(満水量：約450ml)

本体表示パネルに **FL** が表示され、警告音が鳴り、約3分間の送風後に運転が停止します。

- 本体下部の排水ドレン部に薄いトレイなどを差し込み、排水ドレン栓を外して本体を傾けて排水します。※トレイが溢れないように数回に分けて排水してください。



※排水ドレン栓を開けたときに、中に残っている水がこぼれるおそれがあります。



※トレイは付属していません。別途ご用意ください。

アース線について

アース線の接続



アース線接続

ご使用の前に、正しくアース線の接続をおこなってください。
→接続しない場合や不完全な場合は、故障や漏電時に感電の原因になります。

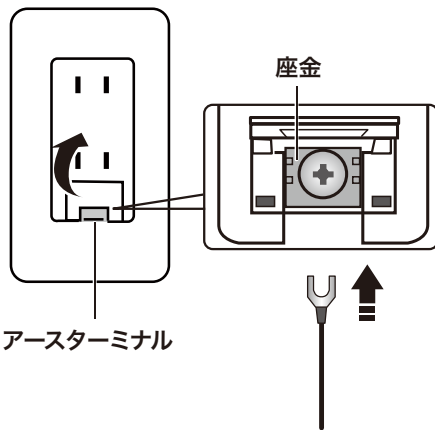
【注】アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しない

■漏電遮断機、アース端子が付いていないコンセントの場合

- アース端子を増設する工事は「D種接地工事」と呼ばれ、有資格者でなければ施工できない工事にあたります。

【注】アース端子の増設は専門業者の電気工事の資格を持つ方へ依頼してください。

1 アース線を接続します。



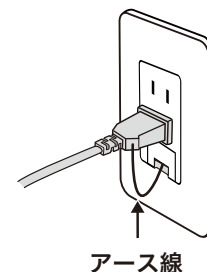
- ①コンセントの「アースターミナル」の蓋を開けます。
→中にネジ、その下に座金があります。
- ②プラスドライバーでネジを反時計回りに回して緩めます。
ネジを緩めるとその下にある座金と一緒に浮いてきます。
- ③座金の下にアース線の先端を潜り込ませます。
- ④ネジを時計回りに回して締めて座金を固定していきます。
※ネジと座金を固定し終えたらアース線を手で引っ張ってみて線が抜けかないか確認してください。
- ⑤蓋を元通りに閉じます。

2 コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込みます。

※アース線の接続が完了してから最後に電源プラグを差し込みます。

■アース線の効果

- ①漏電時の感電を防ぎます。
- ②余分な電気エネルギーを地面に逃し、電気の流れを安定させることで家電の動作に影響を与えるノイズを軽減します。
- ③電磁波を軽減します。



運転をする



必ず守る

交流100V 15A以上のコンセントを単独で使用してください。

延長コードは使わないでください。

電源ボタンを押す前に手で [左右ルーバー] [上下ルーバー] の角度を決めてください。(7ページ参照)

むやみにボタン操作を繰り返す行為はしないでください。→ 故障の原因になります。



警告

ぬれた手で操作しない → 感電やけがのおそれがあります。

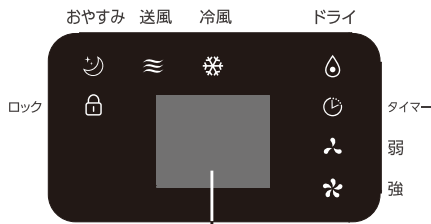
- コンセントにアース線の接続をし、電源プラグを確実に差し込む
(アース線の接続については14ページ参照)

※通電し、待機状態になります。

※リモコンを使用する際は、リモコンの電波送信部を本体の電波受信部に向けて操作してください。(9ページ参照)

本体は静電式タッチボタンのため、タッチ操作になります。
リモコンは押下式ボタンのため、押す操作になります。

- 操作するごとに「ピッ」と鳴り、液晶ランプ (下図) が点灯します。
※おやすみモード設定時は機能切り替え以外は音が鳴りません。



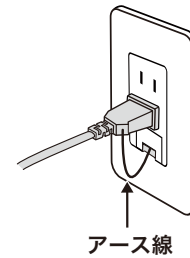
[温度 / 時間表示画面]



(例) 送風運転・風量弱・
周辺温度 23°Cの場合



(例) 冷風運転・風量弱・
タイマー時間 3 時間の場合



アース線

■ 電源入/切



本体

入/切

電源入/切ボタンをタッチすると運転を開始します。



リモコン

入/切

電源入/切ボタンを押すと運転を開始します。

■ 風量設定 (運転している状態で押します) ※ドライ運転、おやすみ設定の場合は使用できません。



本体

風量

風量ボタンをタッチすると弱・強が交互に切り替わります。



リモコン

弱

強

お好みに合わせて風量ボタン[弱]あるいは[強]を押して
風量を切り替えます。

■ 機能設定 (運転している状態で操作します) 機能の詳細：8ページ

以下の環境でのみコンプレッサーが作動します。(詳細：6ページ参照)

●冷風・ドライ運転：室温が約16℃～38℃



機能ボタンをタッチすることにより液晶ランプが点灯し、機能が切り替わります。

→[冷風❄]→[ドライ☉]→[送風≡]

※電源を切る前の状態で運転を開始します。

コンセントから電源プラグを抜き、しばらく放置するとメモリの機能は解除されます。

機能ボタンを長押しすると内部クリーンモードとなり、送風(風量強)で30分運転後に電源が切れます。

エアコン内部を乾燥させ、カビや雑菌の繁殖を抑えることを目的とした機能です。

※カビの発生を防ぐことを保証するものではありません。

※本機能は内部を一時的に乾燥させるためのものであり、完全に水分を

取り除いたり、洗浄や清掃を行うものではありません。

※「お手入れのしかた」(18ページ参照)をあわせてご確認ください。

※内部クリーンを途中で止める場合は電源を切ってください。

※内部クリーンは本体からのみ操作可能です。



設定したい機能 [冷風❄]・[ドライ☉]・[送風≡] のボタンを押します。

■ タイマー設定



タイマー設定ボタンをタッチして、1～24時間の入/切タイマーの設定ができます。(1時間単位)

※タイマー設定時に数字が点滅表示されます。

その後数字が表示され設定完了。(点滅中は設定変更可能)



タイマー設定ボタンを押して、1～24時間の入/切タイマーの設定ができます。(1時間単位)

※タイマー設定時に数字が点滅表示されます。

その後数字が表示され設定完了。(点滅中は設定変更可能)



[切タイマーを設定する] → (運転している状態で操作します)

●運転状態でタイマーボタンを操作し、[▽] [△] ボタンで切タイマー時間を設定する → タイマーランプ (🕒) が点灯します。

※設定完了後、送風運転・ドライ運転は周辺温度、冷風運転は設定温度が画面に表示されます。

※タイマー時間を0にするか、電源を切るとタイマーは解除されます。



[入タイマーを設定する] → (待機している状態で操作します)

●待機状態でタイマーボタンを操作し、[▽] [△] ボタンで入タイマー時間を設定する

●風量ボタン・機能ボタンを操作してお好みの設定をする

→ 設定したタイマー時間が画面に表示され、タイマーランプ (🕒) と設定した風量ランプ (🌬️・❄)・機能ランプ (≡・❄・☉) が点灯します。

※冷風運転温度設定は、電源を切るときに設定されていた温度が引き継がれます。

※タイマー時間を0にするか、電源を入れるとタイマーは解除されます。

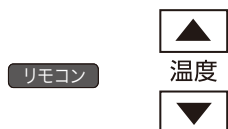
※リモコンで操作する場合はタイマーボタンを操作し、[▼] [▲] ボタンで切・入タイマー時間を設定する

■ 温度設定 (運転している状態で操作します) ※ドライ運転・送風運転の場合は使えません。

※実際に出ている風の温度を設定する機能ではありません。周辺の目標温度を設定する機能になります。



冷風運転中にお好みに合わせて [▽] [△] ボタンをタッチして温度を設定します。ボタンをタッチするごとに、1°C単位で設定が下がる、あるいは上がります。(16~32°C)



冷風運転中にお好みに合わせて [▼] [▲] ボタンを押して温度を設定します。ボタンを押すごとに、1°C単位で設定が下がる、あるいは上がります。



※温度設定時に数字が表示され、点滅後に設定が完了します。(点滅中も設定変更可能)

※設定完了後、設定温度が表示されます。

(例) 冷風運転・風量弱・設定温度 20°Cの場合

■ おやすみ設定 (運転している状態で操作します) ※冷風運転でのみ使用できます。



おやすみボタンをタッチすると弱風量で運転し、12時間後に自動で運転を停止します。

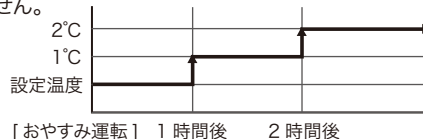


おやすみボタンを押すと弱風量で運転し、12時間後に自動で運転を停止します。

※おやすみボタンを操作すると、表示部のLEDが暗くなり、機能切り替え以外の操作音が鳴らなくなって、おやすみ設定から12時間後まで上記の温度で運転をします。

冷風運転

設定後 1 時間経つと設定温度から 1°Cアップ、さらに 1 時間後設定温度からもう 1°Cアップします。その後は設定温度から 2°Cアップした温度で運転します。設定温度が 32°Cより高くなることはありません。



■ ロック設定 (本体の操作ボタンで設定します)



ロックボタンを長押し(約3秒)するとボタン操作をロックします。再度長押し(約3秒)でロックを解除します。

※ロック中は本体パネル・リモコン操作ができません



必ず守る

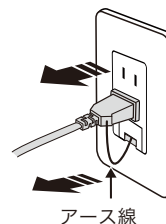
使用後は、電源入/切ボタンを押して電源を切り、アース線に注意してコンセントから電源プラグを抜く ※電源ランプが消灯します。

お手入れのしかた

- 必ず電源を切り、コンセントから電源プラグ・アース線を抜いてからおこなってください。
- お手入れは2週間に1回以上おこなってください。
- エアフィルターにホコリが溜まると、冷風効果（冷房効果）が弱くなります。
- 長期保管の際は故障防止のため、19ページ「保管のしかた」をよくお読みください。



- 本体やリモコンは、水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない → 内部に水が入り、故障の原因になります。
- みがき粉・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・硬いたわしなどは使わない → 変色や変形の原因になります。
- 40℃以上のお湯は使わない → 変形の原因になります。

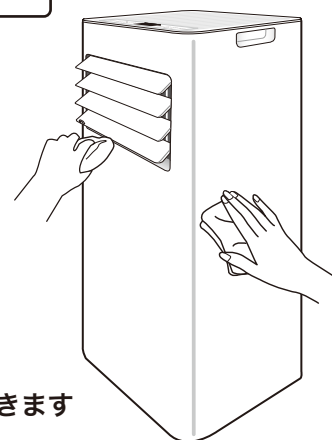


本体 水洗いはできません

- 乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

汚れのはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取ってください。その後、洗剤や水分が残らないようにきれいに拭いてください。

※長期間使用しない場合は、必ず本体を軽く傾けて排水口およびドレンホース差込口からドレン水を抜いたあと、送風運転で半日程度運転して内部を乾かします。
→上記をおこなわないと内部にカビやサビが発生し、故障の原因になります。

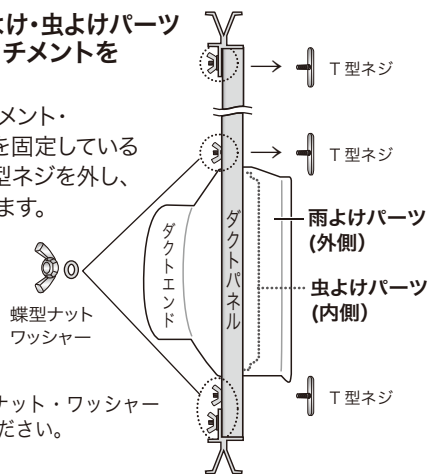


排気ダクト・排気ノズル・ダクトエンド・雨よけパーツ 虫よけパーツ・ダクトパネルA/B/C/D・ドレンホース・ レール固定用アタッチメント 水洗できます

- 長期間収納するときにそれぞれを分解して、洗ってください。
洗った後は、本体同様に水気が残らないように十分乾燥させてください。

①ダクトパネルから雨よけ・虫よけパーツ レール固定用アタッチメントを 外します。

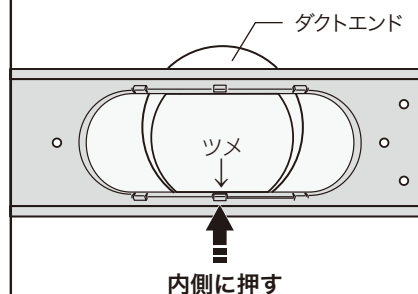
- レール固定用アタッチメント・
雨よけ・虫よけパーツを固定している
蝶型ナットを回してT型ネジを外し、
ダクトパネルから外します。



【注】外したT型ネジや蝶型ナット・ワッシャーなどをなくさないでください。

②ダクトパネルからダクトエンドを外します。

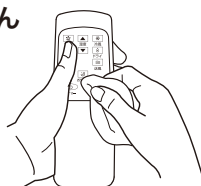
- ダクトパネルを裏返し、ダクトエンド穴に固定しているダクトエンドのツメを中央に向けて押すと、ダクトエンドが外れます。



リモコン 水洗いはできません

- 表面の汚れやホコリを乾いた布で拭き取ります。

※長期間ご使用にならない場合は電池を取り出しておいてください。



電源プラグ 水洗いはできません

- ゴミやホコリは定期的に乾いた布で拭き取ります。

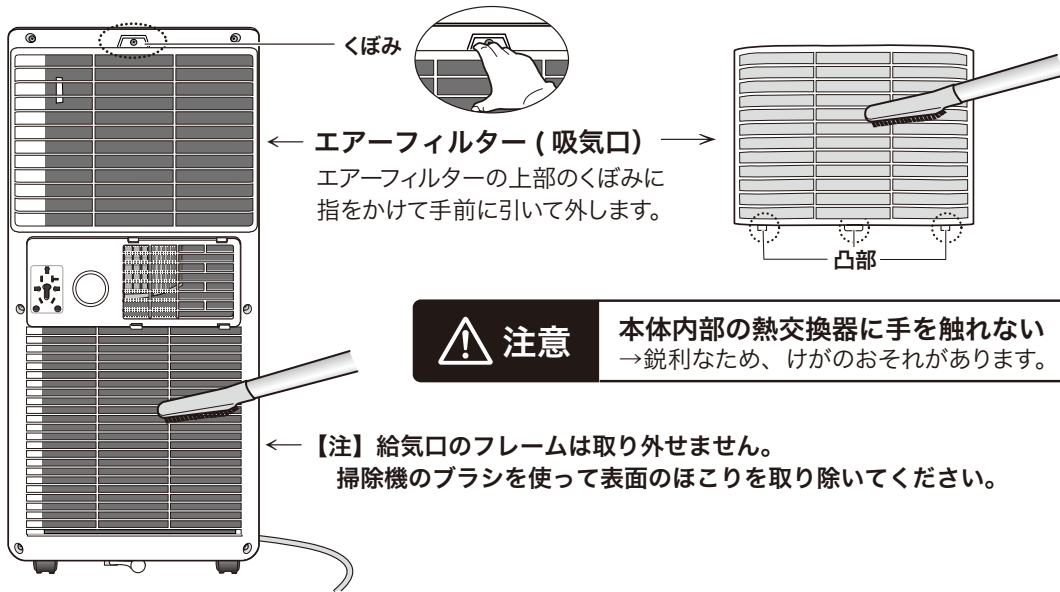


エアフィルター (吸気口) 水洗いできます

お手入れは2週間に1回以上おこなってください。

●エアフィルターを外して掃除機のブラシなどでホコリを取り除きます。

汚れのはげしい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水を付けて、汚れを拭き取るか、取り外してぬるま湯と柔らかいスポンジで洗ってください。洗ったあとは、十分乾燥させてください。



■エアフィルターの取り付け方

●吸気口の下部3か所の凹部に、エアフィルターの3個の凸部を差し込み、本体側に押しカチッと音をさせて確実にセットします。

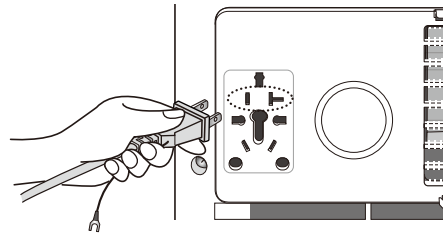


禁止

絶対にエアフィルターを外したまま使用しない
→内部にホコリを吸い込み、故障の原因になります。

■電源プラグの収納

●本体裏の「差込収納口」に、電源プラグと形が一致する場所に差し込みます。



保管のしかた



必ずやる

●長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないよう必ず本体を軽く傾けて、本体下部の排水口およびドレンホース差込口から内部の水を抜き、十分乾燥させてください。

[乾燥のしかた]

晴れている日に半日程度「送風」運転をして機器の内部を乾燥させてください。

●排気ダクトを取り外し、本体を袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、必ず製品を立てた状態にして

直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。

●リモコンの電池は取り出しておいてください。

故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

症 状	対 処 方 法
電源が入らない 運転が始まらない	<p>●コンセントに電源プラグが確実に差し込まれていますか？ → 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。</p> <p>●正しく操作していますか？ → 電源入 / 切ボタンを押して電源を ON にしてください。(15 ページ参照)</p> <p>●ドレン水がたまっていませんか？ → 容器を用意して排水してください。(13 ページ参照)</p>
冷え方が弱い (冷風・ドライ運転時)	<p>●エアフィルターがホコリで汚れていませんか？ → エアフィルターのほこりを掃除機のブラシなどを使って掃除してください。2週間に1回は掃除をしてください。洗える場合は洗ってください。(19ページ参照)</p> <p>●部屋の中に熱源になっているものはありませんか？ → 室内にはできるだけ熱源になるものを置かないでください。</p> <p>●付属品以外の排気ダクトを使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長していませんか？ → 排気ダクトは必ず付属品を単独で使用してください。付属品以外の排気ダクトを使用したり、排気ダクトを連結するなどして長さを延長すると排気熱が排気ダクト内に留まり、正常な排熱処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(6・10ページ参照)</p> <p>●排気ダクトを急な角度で設置していませんか？ (12 ページ参照) → 排気熱が排気ダクト内にたまり、正常な排気処理ができず、コンプレッサーの保護機能が作動します。(6 ページ参照)</p>
冷風が出ない (冷風運転時)	<p>●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ → 6 ページ参照</p> <p>●熱気のこもった部屋で使用していませんか？ → 換気や扇風機の併用などで周辺温度が下がる状態でお試してください。</p>
送風が停止する (冷風・ドライ運転時)	<p>●コンプレッサーの保護機能が働いていませんか？ → 6 ページ参照</p>
ブレーカーが落ちる	<p>●本体を横に寝かせませんでしたか？ → 24時間以上縦置き(正常位置)の状態置いてから再度運転をおこなってください。 ※運送会社によっては、配送時に横積みをしている場合があります。</p> <p>●建物内の同コンセントの回路内で、消費電力の大きい製品を使用していませんか？ → 異なる場所のコンセントでも、同コンセント回路内で消費電力の大きい製品を使用しているとブレーカーが落ちます。</p>
「シャンシャン」などの音がする	<p>●作動音であり異常ではありません。→ 4ページ参照</p>
水漏れがする	<p>●本体を平らで安定した場所で使用していますか？</p> <p>●使用中や水が溜まっている状態で本体を移動させたりしていませんか？ → 移動させることで本体内部の水受け皿に溜まっている水が溢れ、時間差で外部に漏れ出ることがあります。</p> <p>●ドレンホースの差込や排水ドレン栓のゆるみはありませんか？</p>

エラー表記について

E0	<p>基盤の通信不良・警告音が鳴ります。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。</p>
E1	<p>周辺温度センサーの故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。</p>
E2	<p>蒸発器、凝縮器のセンサー故障・警告音が鳴ります。 数秒後にファンが運転停止します。 →お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。</p>
Fl	<p>満水のお知らせ・警告音が鳴ります。約3分間の送風後に運転が停止します。 →電源を切り、本体背面の下部にある排水ドレン栓を抜いて、ドレン水を捨ててください。 (13ページ参照)</p> <hr/> <p>●頻繁に満水表示がでる場合は、ドレンホースを取り付けて連続排水してください。 →連続排水中にドレンホースが折れたり曲がっていないか、確認してください。</p>
<p>※どのエラー表記もいずれかのボタンを押すと音は止まります。</p>	

故障ではありません

※4.5ページ：「知っておいていただきたいこと」にさらに詳しく記載しております。
あわせてご参照ください。

●コンプレッサーが入切を繰り返す

→室温が約16℃～38℃の範囲の環境でお使いください。(6ページ参照)

●停止直後に再運転ができない

→運転を停止後、数分間は再運転を止めて内部の機器を守り、ヒューズ切れを防ぎます。

●運転音が大きい

→本体を平らな所に設置しているか、排気ダクト・ダクトエンド・雨よけパーツ・虫よけパーツ・エアフィルターが正しく取り付けられているかを確認してください。

●電源プラグが異常に熱い

→コンセントへの差し込みが確実におこなわれていない場合や、ガタついている場合は、異常に加熱します。別のコンセントに正しく差し込み直すか、工事業者に依頼してコンセントの交換をおこなってください。交換しても異常に加熱する場合は、お買い上げの販売店もしくは、弊社お客様サポートセンターにご相談ください。

※使用中に、電源プラグが多少熱を帯びることは異常ではありません。

運転中に、停電になったり、電源ボタンを押さずに電源プラグを抜いて運転停止した場合は、停電復旧後やコンセントに電源プラグを差し込んだ時点で、電源ボタンを押さなくても運転を再開します。
※故障の原因になりますので運転停止する場合は、必ず電源ボタンを押して電源を切り、ファンが停止してから電源プラグを抜いてください。

製品仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	50Hz：750W、60Hz：800W
電動機の定格消費電力	50Hz：630W、60Hz：730W
定格除湿能力	50Hz：34L/日、60Hz：38L/日
運転電流	50Hz：9.6A、60Hz：8.2A
電流ヒューズ	2A
冷媒の種類	HFC-R410A
冷媒封入量	270g
冷房能力	50Hz：2.3KW、60Hz：2.6KW
本体重量	約 20.3kg
本体サイズ	約(幅) 30.3×(奥行) 28.6×(高さ) 69.6cm
電源コード長さ	約 1.8m
材質	ABS樹脂、アルミニウム、鉄
付属品	リモコン(単4形アルカリ乾電池×2本使用 ※電池は付属していません) 排気ダクト×1、ダクトエンド×1、排気ノズル×1、 ダクトパネルセット(ダクトパネル A/B/C/D 各1枚)、 雨よけパーツ×1、虫よけパーツ×1、ドレンホース×1、 ダクトパネル固定用ネジセット×9、レール固定用アタッチメント×2、 すき間スポンジシール×4
生産国	中国

※冷房能力および電気特性は、室温 27℃、相対湿度 60%の条件で運転したときの値です。
※仕様および外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。
- 本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者様ご自身の負担により専門の回収業者に委託し、適正に処理してください。
※フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
※この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要になります。
※フロン類の種類および容量は、本製品の銘板に記載しています。

別売品

[オープン価格]

※別途送料がかかります。

- お求めは下記《お客様サポートセンター》に
お願い致します。

- 排気ダクト
- ダクトエンド・排気ノズルセット
- ダクトパネルセット(A・B・C・D)
- ダクトパネル固定用ネジセット
- リモコン
- ドレンホース
- 雨よけパーツ
- 虫よけパーツ
- レール固定用アタッチメント×2
- すき間スポンジシール

冷媒に関する注意



この製品には、GWP(地球温暖化係数)が1920のフロン類(R410A)が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。廃棄する場合、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口に確認をお願いいたします。

輸入元：MARUTAKA(株式会社丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-62-3

《お客様サポートセンター》TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● 本体への表示内容

経年劣化により危害が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務づけられた以下の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦表示してあります。

【設計上の標準使用期間】5年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用ができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■ 標準的な使用条件 JIS C 9921-3 によります。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	冷風室内温度	27°C(乾球温度)
	冷風室内湿度	47%(湿球温度 19°C)
	設置条件	標準設置

負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋

想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷風6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	冷風：9時間/日
	1年間の使用時間	冷風：1008時間/年

● 製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 本体に触れるとビリビリ電気を感ずる
- その他異常や故障がある



左記のような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

140×90mm

保証書

本書は、本書記載内容(無料修理規定に基づく)で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日より下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。

品名	スポットエアコン	品番	MSA-236R-W / MSA-236R-M
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	本体お買い上げ日より1年
お客様	お名前	様	
	ご住所 〒	-	
	お電話	()	
販売店	住所・店名		
	電話	()	

販売店様へ※印欄はお買い上げ日を必ずご記入のうえお渡しく下さい。(販売店印がない場合は、領収書またはレシートを貼ってください。)

保証規約

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店まで修理をご依頼ください。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご購入の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店にご依頼ができない場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料となります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障や損傷。
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他天災地変や異常電圧による故障および損傷。
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)やポータブルバッテリーなどで使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 正規販売店以外(オークションや中古販売品、個人売買品、未開封の二次販売など)での購入の場合。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくはお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

※この製品のスペアパーツをお客様にお届けできる期間は、製造終了後3年間までです。
(流通在庫の関係で期間内でもお届けできない場合があります。)

MARUTAKA (株式会社 丸隆)

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

〈お客様サポートセンター〉 TEL 0120-104-300

受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

MSA-236R-W / MSA-236R-M

スポットエアコン銘板

SIZE : 100×110mm

品名：スポットエアコン 屋内 / 準屋内用

品番：MSA-236R-W / MSA-236R-M

定格電圧 AC100V
定格周波数 50/60Hz
定格消費電力 50Hz：750W、60Hz：800W
電動機の定格消費電力 50Hz：630W、60Hz：730W
定格除湿能力 50Hz：34L/日、60Hz：38L/日
運転電流 50Hz：9.6A、60Hz：8.2A
電流ヒューズ 2A
冷媒の種類 HFC-R410A
冷媒封入量 270g
冷房能力 50Hz：2.3KW、60Hz：2.6KW
本体重量 約20.3kg
本体サイズ 約(幅)30.3×(奥行)28.6×(高さ)69.6cm
輸入元：株式会社丸隆



※冷房能力および電気特性は、室温27℃、相対湿度60%の条件下で運転したときの値です。

販売元：株式会社 おおたけ MADE IN CHINA
2026年製 2603YM-1

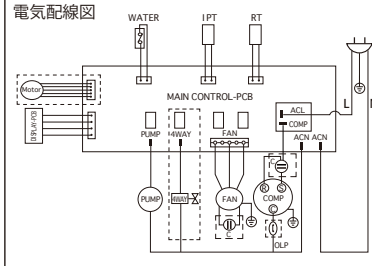
製造年 2026年
設計上の標準使用期間 5年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計上の使用期間は、「保証期間」とは異なります。

廃棄方法についての注意
この製品は冷媒として、HFCが使われています。
①フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
②この製品を破壊する場合には、フロン類の回収が必要になります。
③フロン類の種類および容量は、本製品の銘板に記載されています。

定期的なお手入れのお願い
製品を安全に使用していただくために、必ず定期的にお手入れを実施してください。もし不具合が認められた場合は、ただちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。お手入れの方法は取扱説明書をご参照ください。

電気配線図



警告

■感電・火災のおそれあり

- 絶対に分解・修理・改造をしない
- ぬれた手で電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりを触らない
- 交流100V・15A以上のコンセントを単独で使用する
- アース線を正しく取り付ける
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
- 傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない
- 異常・故障時には、ただちに使用を中止し電源プラグをコンセントから抜く

※修理はお買い上げの販売店にてご相談ください。

■爆発・火災のおそれあり

- 屋外・火気の近く、水のかかる所で使用しない
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料など引火性のものがある場所で使用しない
- ガスや電気、化学物質など爆発性粉じんが発生する場所で使用しない

■事故・けがのおそれあり

- 水平で硬い安定した場所に設置し、横倒しにしない
- 吹出口や吸気口・給気口・排気口に、ピンや針金など金属製の異物や指などを入れない

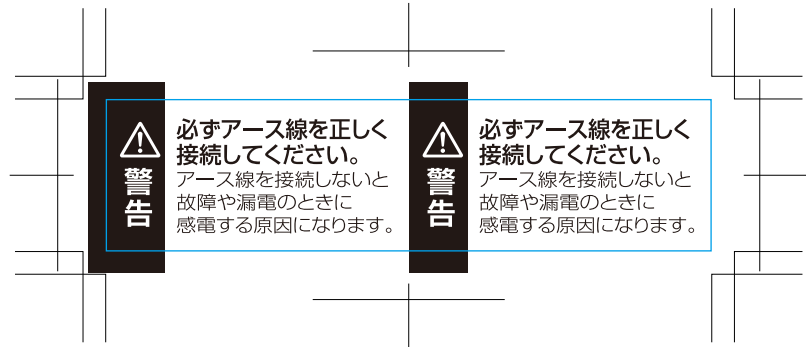
注意

■事故・けがのおそれ、能力低下のおそれあり

- 延長コードは使用しない
- AC100V 15A以上のコンセントを単独で使用する

MSA-236R-W / MSA-236R-M
スポットエアコン 注意シール

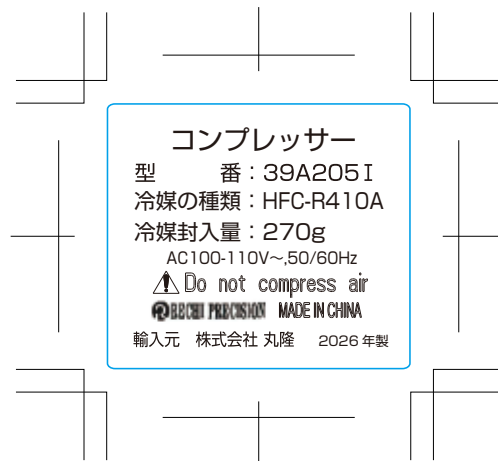
アース用注意シール
SIZE : 80×20mm



ドレンホース差込口シール
SIZE : 40×20×1mm



MSA-236R-W / MSA-236R-M
スポットエアコン コンプレッサー銘板
SIZE : 40×35×1mm



ご使用前に

お願い

製品到着後はすぐに電源を入れず、
必ず半日から1日以上置いてから使用してください。

→運送中にコンプレッサー内の冷媒オイルが別の場所に流れ込み、コンプレッサー内の冷媒オイルが不足して正常に動作しないなど、コンプレッサー故障の原因になります。

コンプレッサーの保護機能に関して

■室温が約16℃～38℃の環境でご使用ください。

⇒以下の環境になると、保護機能が働き、「冷風・ドライ⇒送風」に運転が自動で切り替わります。

- 本体周辺の温度が39℃以上、15℃以下のとき
- 冷却ユニットに霜が付いた場合

※本体内部の温度センサーと実際の室温に差が生じることがあります。
※使用温度範囲は、湿度によっても変わります。目安としてください。
※ご使用環境下の条件によっては、送風も停止する場合があります。

冷風運転	15℃以下	16℃ ～ 38℃	39℃以上
ドライ運転	送風	冷風	送風

※周辺温度が35℃以上の場合、周辺温度が38℃以下でも、本体内部の温度センサーが39℃以上と感知してコンプレッサーの入/切を繰り返す場合があります。(周辺温度と本体内部の温度には差があります) 密閉空間では、コンプレッサーの入/切を繰り返すことで次第に室温が下がり、連続して冷風運転がおこなわれるようになります。

- 機能を切り替えた際、最長5～10分程度コンプレッサーの起動に時間がかかります。
- 電源を切った後すぐに再度電源を入れた場合でも、コンプレッサーの起動に時間がかかります。